

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人

青少年の自立を支える埼玉の会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

児童生活環境整備事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

①生活環境の充実—下駄箱、クローゼットダンスを設置、玄関の靴脱ぎっぱなし、衣服の整理整頓を容易にし、子どもたちの生活習慣の向上を目指す。②洗濯機の買い替え—洗濯するたびに異様な音を立てている。③倉庫設置—ただでさえ収納スペースがない中で退寮する子どもたちの荷物を預かるスペースを確保したい。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

① 下駄箱の設置—安定した就労、メンタル面での段階的回復の兆しを横目に感じながらなかなか向上を見ないのが子どもたちの生活習慣。入所までの経過を見れば無理もないことだが玄関の靴の脱ぎっぱなしの原因の一端がホームの生活環境にあるとすれば問題外である。
② 備品の買い替え、設置—洗濯機、食器棚、食器等の買い替え
③ 倉庫の設置—荷物を残したまま退寮した子どもたちの対応に苦慮している。ホームに戻って来るのを待ちながら片付けた部屋の物品をしまっておく場所がない。汚れたままの衣服、日用品ならまだしも親との数少ない幼い頃の写真、学校時代のアルバム、記念品、卒業証書等を保管しておきたい。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

① 下駄箱の設置により今まで脱ぎっぱなしだった靴の整理が出来た。生活習慣を身につけさせるのに環境の重要性を実感しました。
② 異様な音をたてる洗濯機を買い替え、8年使い、不揃いになった食器等を用途に合わせて買い替え、買いそろえたことで子どもたちも食事時に料理に合わせた食器の選択が出来るようになりました。
③ 倉庫の設置で収納場所が増え、退寮、在籍児童の荷物の整理、保管が出来ました。同時にホームの備品の収納が可能になり、ホーム全体の整理整頓が出来ました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

ホームの運営資金の問題から子どもたちの生活環境の整備がなかなか進まなかった現実があります。昨年からの空調設備をはじめ、生活備品の買い替え等の助成をいただき、ホームの生活環境は見違えるように改善されました。過ぎたぜいはいくは不要ですが、子どもたちが最低限の生活習慣を身につけ、大人として自立していく過程で安定した生活、就労を維持していくのに生活環境がいかに大切かを日々実感しています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし